

株主 通信



Online Business Solution & Service
Cloud Enabling®



第24期 連結業績

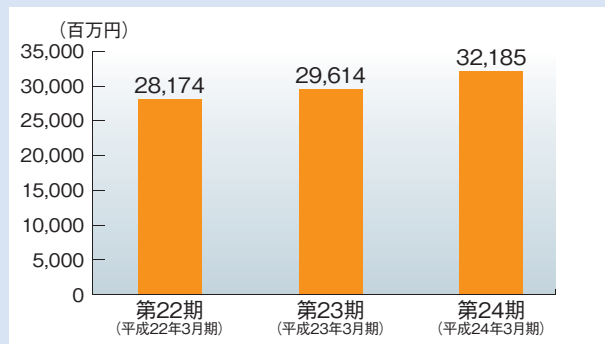
売上高 **32,185百万円**

経常利益 **1,615百万円**

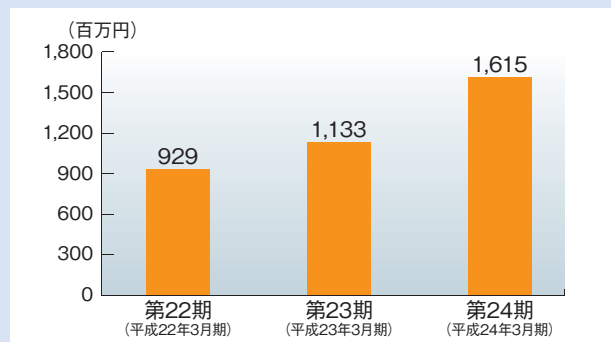
当期純利益 **753百万円**

純資産 **8,082百万円**

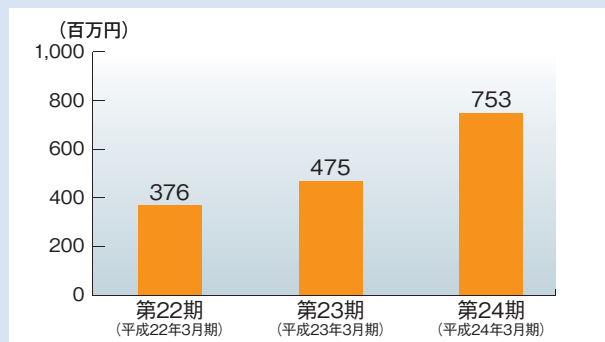
●売上高の推移



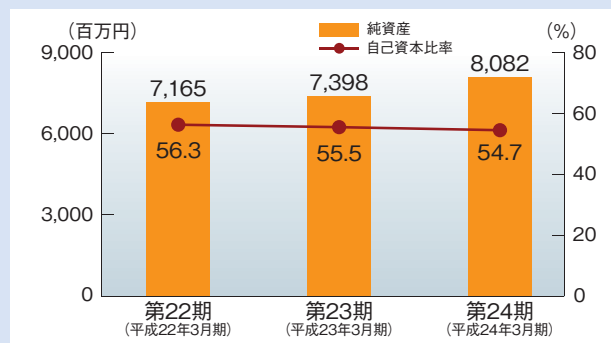
●経常利益の推移



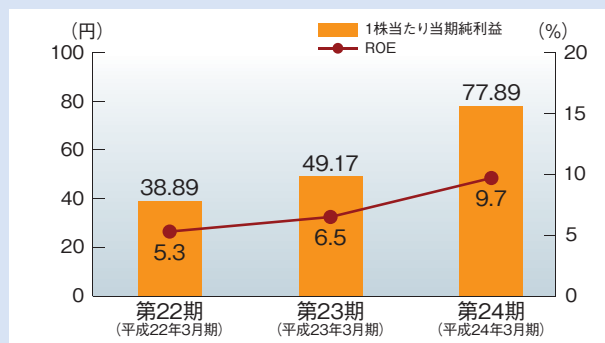
●当期純利益の推移



●純資産・自己資本比率の推移



●1株当たり当期純利益・ROEの推移





株主の皆様へ

第24期(平成24年3月期)決算報告について

代表取締役社長 石川 憲和

平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当連結会計年度の業績は、売上高においては前連結会計年度より2,571百万円増加し、32,185百万円(前期比+8.7%)、また営業利益においては前連結会計年度より305百万円増加し、1,593百万円(前期比+23.6%)、さらに経常利益においては前連結会計年度より482百万円増加し、1,615百万円(前期比+42.6%)となり、創業以来最高の売上高、営業利益、経常利益を計上いたしました。なお、当期純利益においては前連結会計年度より278百万円増加し、753百万円(前期比+58.5%)となりました。

これはイービジネス事業における、「Web-MarketingService」分野のウェブサイトアクセス解析サービスの顧客数が続伸したほか、注力しているコンサルティングサービスの受注増加が大きく貢献しております。同時に、ソリューション事業において、ソフトバンクグループ向けの受注が好調に推移したこと、特に通信事業関連やインターネット事業関連での受注増加も、増収増益に寄与した要因として挙げられます。

当社はこれまで「システムインテグレーター から サービスインテグレーター へ」を標榜し、事業のサービス化を進めてまいりました。お客様のシステム、ネットワーク構築などのワンタイムビジネスから、お客様に継続してサービスを提供していくストックビジネスへと事業構造を転換させることで、収益基盤の整備に寄与してきました。また、収益基盤を確保しながらも、自らの事業への投資を継続し、中長期的な成長を期待できる新規事業も立ち上がりを見せております。

今後も、ソフトバンクグループとのシナジー追求や、事業のアジア展開を推進し、持続可能な成長基盤をより強固なものとしてまいります。

当連結会計年度末におきましては、前連結会計年度末から普通配当を4円増額し、1株当たり20円の普通配当の実施を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年

4月

- 被災地支援「ビジネスファイル便」を無償提供

6月

- インフォシティ社とiPhone/iPadアプリ共同企画
- クラウドサービス型「Sitecore」の提供開始

8月

- フジテレビ社向けに「RTmetrics®」を導入
- ヤフー社向けにAruba社製品による無線LANを構築

10月

- 国内初のWebフォントデザインアワードを開催
- 「Hug Mug」サイト向けに「EC Stage™」を導入



11月

- BIツール「Qlik View」の販売開始

2012年

3月

- DMM.com社向けに「Adobe® Digital Marketing Suite」と「SBT SIGNALコンサルティングサービス」を導入
- iPhone/Android対応の法人向け安否確認アプリ「Mobile Perfect® SP」の提供開始

2011年

4月

5月

5月

- 近鉄百貨店向けにiPadアプリを導入
- Super Micro Computer Inc.製サーバーの販売開始

6月

7月

7月

- マイクロソフト社「Office 365」を自社導入
- Webフォントサービス「FONT+®」の提供開始



8月

9月

9月

- 全銀電子債権ネットワーク向け「Sitecore」を導入

10月

11月

12月

- 「FONT+®」事業で白舟書体社と業務提携
- iPadアプリ「Smart Catalog Access」の提供開始
- NEXCO東日本社向けにプライベートクラウド環境を構築

12月

2012年

1月

2月

3月

4月

12月

- PKIソリューション「デバイスID」の販売開始
- EC-BPOサービス 東アジア展開政策の一環で台湾支店を設立

4月

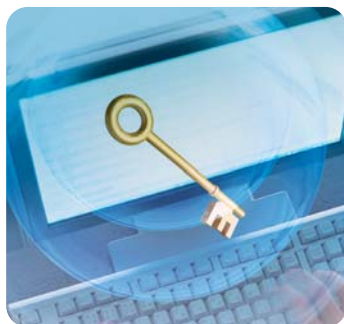
- Adobe デジタルマーケティング ベストパートナーアワード 2011受賞
- Aruba APJ 2011 ニューパートナーオブザイヤー受賞





イービジネスサービス事業

当連結会計年度の売上高は17,950百万円(前期比△1.8%)、営業利益は957百万円(前期比+16.6%)となりました。当事業の中核をなす「EC-BPO Service」において、国内におけるウィルス対策ソフト販売が堅調に推移しているほか、東アジア諸国向けのビジネスも積極的に進めており、順調に売上を伸ばしております。また、「Web-Marketing Service」ではウェブサイトのアクセス解析サービスの顧客数が続伸したほか、注力しているコンサルティングサービスの受注も伸び、利益貢献を果たしております。

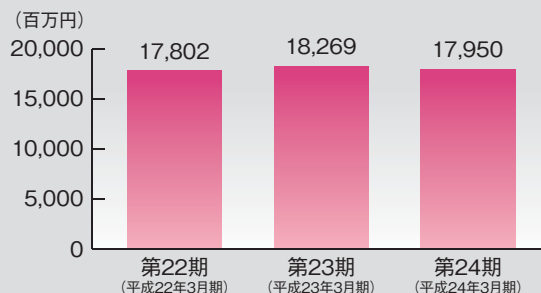


ソリューション事業

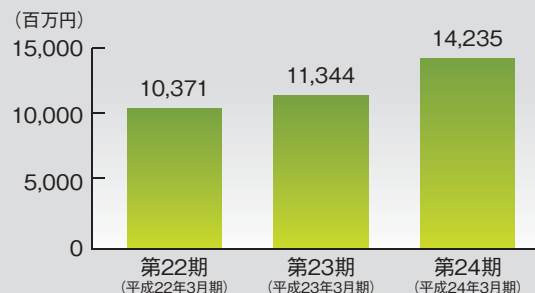
当連結会計年度の売上高は14,235百万円(前期比+25.5%)、営業利益は635百万円(前期比+36.1%)となりました。ソフトバンクグループ向けの受注が好調に推移したほか、特に通信事業関連やインターネット事業関連での受注が増加し、増収増益に寄与しました。また、スマートフォン・スマートデバイスの法人利用拡大を背景にした企業内ワイヤレスネットワーク構築案件なども好調に推移しました。

■事業別連結売上高の推移

●イービジネスサービス事業



●ソリューション事業



次期の業績見通し

「システムインテグレーターからサービスインテグレーターへ」をスローガンに、従来からの施策であった「事業のサービス化」をさらに進めてまいります。

システムインテグレーション、ネットワークインテグレーションなどをワンタイムビジネスから、事業のサービス化、つまりストックビジネス構造への転換を図ることによって、顧客に提供するサービス品質と利益率を向上させ、「Online Business Solution & Service」、「Cloud Enabling[®]」という2つのサービス事業領域を中長期的な収益基盤としてまいります。

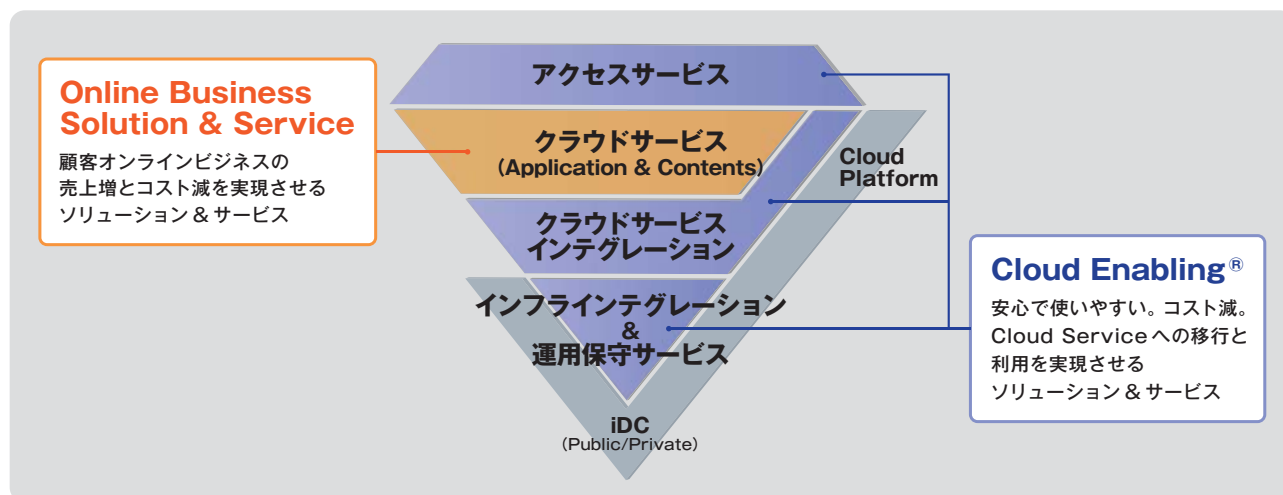
また、先進的なメーカー・ベンダーとの協業を強化して新しい技術を導入し、常に業界での優位を確保してまいります。M&Aも積極的に検討いたします。

さらには、次期事業方針としてソフトバンクグループシナ

ジーの最大化という観点で、ソフトバンクグループ各社とのビジネス拡大に傾注してまいります。当社グループは、ソフトバンクグループにおけるICT事業分野の中核会社を担い、今後も発展するソフトバンクグループ各社と技術面及び取引面の総合的シナジーを一層強化してまいります。

加えて、ソフトバンクグループの新規事業への参画を通して培った高度で幅広い技術と知識によって独自のソリューションとサービスを開発し、新規顧客の開拓を積極的に進めてまいります。

以上の施策により、次期の連結売上高は33,000百万円、連結営業利益は1,650百万円を見込んでおります。



(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

POINT 1

流動資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などにより、2,100百万円増加しました。

POINT 2

固定資産

投資有価証券の減少などにより、654百万円減少しました。

POINT 3

流動負債

買掛金、未払法人税等の増加などにより、806百万円増加しました。

POINT 4

純資産

利益剰余金の増加などにより、683百万円増加しました。

(注) POINTの記載は、対前連結会計年度末比となっております。

●連結貸借対照表

科 目	当連結会計年度 (平成24年3月31日)	前連結会計年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産①	11,673,061	9,572,693
現金及び預金	4,766,926	4,065,127
受取手形及び売掛金	5,487,540	4,163,928
有価証券	599,065	496,835
商品	60,027	56,893
仕掛品	131,965	125,565
繰延税金資産	173,573	163,986
その他	476,149	518,811
貸倒引当金	△22,187	△18,455
固定資産②	3,110,556	3,765,035
有形固定資産	360,280	442,424
無形固定資産	565,684	503,929
投資その他の資産	2,184,592	2,818,681
(投資有価証券)	(1,305,482)	(1,821,001)
(その他)	(879,109)	(997,679)
資産合計	14,783,618	13,337,728

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (平成24年3月31日)	前連結会計年度 (平成23年3月31日)
負債の部		
流動負債③	6,220,482	5,413,783
買掛金	4,309,493	4,027,584
未払法人税等	488,393	84,934
その他	1,422,594	1,301,264
固定負債	480,573	525,210
リース債務	60,502	93,067
長期前受金	358,322	367,756
その他	61,748	64,386
負債合計	6,701,055	5,938,993
純資産の部		
株式資本	8,038,202	7,439,273
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	7,439,046	6,840,066
自己株式	△747,604	△747,553
その他の包括利益累計額	44,359	△40,537
その他有価証券評価差額金	44,359	11,704
為替換算調整勘定	—	△52,242
純資産合計④	8,082,562	7,398,735
負債純資産合計	14,783,618	13,337,728

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	809,794	1,470,950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,568	△607,457
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,534	△180,434
現金及び現金同等物の増減額	502,692	683,057
現金及び現金同等物の期首残高	4,264,234	3,581,176
現金及び現金同等物の期末残高	4,766,926	4,264,234

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



●連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 ①	32,185,738	29,614,699
売上原価	29,016,051	26,720,128
売上総利益	3,169,686	2,894,570
販売費及び一般管理費	1,575,994	1,605,661
営業利益 ②	1,593,692	1,288,908
営業外収益	65,622	59,085
営業外費用	43,532	214,971
経常利益 ③	1,615,783	1,133,023
特別利益	45,902	171,245
特別損失	134,626	399,369
税金等調整前当期純利益	1,527,059	904,899
法人税等	773,224	429,053
当期純利益 ④	753,835	475,845
その他の包括利益	84,897	△88,113
包括利益	838,732	387,732

POINT 1

売上高

イービジネスサービス事業の売上が堅調に推移したことで、ソリューション事業の売上増により、増収となりました。

POINT 2

営業利益

ソフトバンクグループ向けの売上増加による稼働率の向上などにより、増益となりました。

POINT 3

経常利益

持分法による投資損失がなくなったため、増益となりました。

POINT 4

当期純利益

投資有価証券評価損の減少などにより、増益となりました。

連結財務諸表

●連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

当連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	株主資本					その他の 包括利益 累計額	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計		
当期首残高	634,555	712,204	6,840,066	△747,553	7,439,273	△40,537	7,398,735
当期変動額							
剰余金の配当	—	—	△154,854	—	△154,854	—	△154,854
当期純利益	—	—	753,835	—	753,835	—	753,835
自己株式の取得	—	—	—	△50	△50	—	△50
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	84,897	84,897
当期変動額合計	—	—	598,980	△50	598,929	84,897	683,827
当期末残高	634,555	712,204	7,439,046	△747,604	8,038,202	44,359	8,082,562

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当事業年度 (平成24年3月31日)	前事業年度 (平成23年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,423,739	9,372,223
固定資産	3,252,433	3,935,389
資産合計	14,676,173	13,307,612
負債の部		
流動負債	6,189,974	5,388,684
固定負債	472,507	513,559
負債合計	6,662,481	5,902,244
純資産の部		
株主資本	7,969,331	7,385,954
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	7,370,175	6,786,747
自己株式	△747,604	△747,553
評価・換算差額等	44,359	19,414
純資産合計	8,013,691	7,405,368
負債・純資産合計	14,676,173	13,307,612

●損益計算書

(単位:千円)

科 目	当事業年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	前事業年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	31,923,492	29,207,953
売上原価	28,824,027	26,391,575
売上総利益	3,099,465	2,816,378
販売費及び一般管理費	1,547,092	1,577,194
営業利益	1,552,372	1,239,184
営業外収益	61,801	171,469
営業外費用	43,752	26,493
経常利益	1,570,422	1,384,159
特別利益	45,902	225,850
特別損失	115,624	445,689
税引前当期純利益	1,500,700	1,164,321
法人税等	762,417	420,511
当期純利益	738,283	743,809

●株主資本等変動計算書

(単位:千円)

当事業年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日	株主資本				株主資本 合計	評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式			
当期首残高	634,555	712,204	6,786,747	△747,553	7,385,954	19,414	7,405,368
当期変動額							
剰余金の配当	—	—	△154,854	—	△154,854	—	△154,854
当期純利益	—	—	738,283	—	738,283	—	738,283
自己株式の取得	—	—	—	△50	△50	—	△50
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	24,945	24,945
当期変動額合計	—	—	583,428	△50	583,377	24,945	608,323
当期末残高	634,555	712,204	7,370,175	△747,604	7,969,331	44,359	8,013,691

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

●会社概要 (平成24年3月31日)

商 号 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
 本店所在地 東京都新宿区西五軒町13番1号
 事業所 飯田橋オフィス(本社)、大阪支社、名古屋オフィス、福岡支社、台湾支店
 事業内容 イービジネスサービス事業およびソリューション事業
 ホームページ <https://www.softbanktech.co.jp/>
 資本金 634,555千円
 従業員数 426名(連結) 396名(単体)
 主な子会社 M-SOLUTIONS株式会社

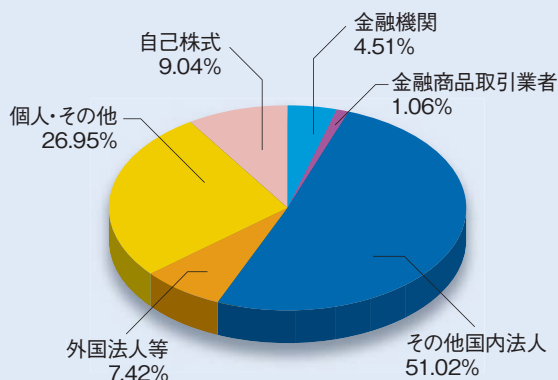
●役員 (平成24年3月31日)

代表取締役	石川 憲和
取締役	志水 直樹
取締役	桐 榮 誠一
取締役	中澤 信一
取締役	青木 克志
取締役	佐藤 光浩
取締役	丸山 耕市
常勤監査役	岩瀬 岑生
監査役	佐野 光生
監査役	後藤 芳光
監査役	三木 雄信

●株式の状況 (平成24年3月31日)

会社が発行する株式の総数…………… 42,560,800株
 発行済株式の総数…………… 10,640,200株
 株主数…………… 4,866名

●所有者別持株比率 (平成24年3月31日)



●大株主 (平成24年3月31日)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
ソフトバンク株式会社	5,367,500	55.45
ビービーエイチ ファイデリティ ロープライズド ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	692,500	7.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	134,300	1.38
石川 憲和	120,000	1.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	75,400	0.77
山田 勝男	60,000	0.61
真鳥 俊幸	39,000	0.40
野村證券株式会社	38,600	0.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	36,100	0.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	34,800	0.35

(注)持株比率は、自己株式(961,852株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金基準日 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先 みずほ信託銀行 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL.0120-288-324(フリーダイヤル)
上場取引所 東証第一部(コード番号 4726)
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載が
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<http://www.softbanktech.co.jp/>

お知らせ

- ① 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ② 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(特別口座管理機関 連絡先)
三菱UFJ信託銀行 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)
- ③ 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店、みずほ銀行本支店およびみずほインベスターズ証券本支店でお受けいたします。

SBTメールマガジン

ソフトバンク・テクノロジーの事業内容のご紹介や、各種セミナーのご案内、お得なキャンペーン情報など、情報満載のメールマガジンを月1回程度お届けしています。

購読のお申し込みはこちらから <https://www.softbanktech.jp/campaign/mailmaga/>

ソフトバンク・テクノロジー 株式会社

〒162-0812 東京都新宿区西五軒町13-1 飯田橋ビル3号館

TEL. 03-5206-3300(代表)

<https://www.softbanktech.co.jp/>

●本誌の内容に関しましては企画室IRグループにお問い合わせください。

企画室IRグループ TEL.03-5206-3316

